



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社
コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 健太郎
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 宏章

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,869	△1.3	266	△45.7	281	△42.3	162	△41.6
23年3月期第1四半期	6,962	22.9	491	—	488	—	277	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 394百万円 (△4.4%) 23年3月期第1四半期 412百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.12	—
23年3月期第1四半期	13.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,440	19,488	71.4
23年3月期	26,826	19,194	69.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 18,886百万円 23年3月期 18,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.00	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,100	△6.6	250	△74.9	250	△74.3	180	△64.1	8.99
通期	27,200	△1.7	800	△52.7	800	△52.9	500	△47.6	24.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	20,111,598 株	23年3月期	20,111,598 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	96,675 株	23年3月期	96,653 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	20,014,940 株	23年3月期1Q	20,015,192 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災及び原子力発電所事故により、企業の生産活動は低迷し、個人消費には自粛ムードが広がりました。さらには、原材料価格の高騰や世界的な景気減速懸念など、取り巻く経済環境は一段と厳しさが増しております。

このような環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、産業用ホースやゴムシートについては、震災の復旧や原子力発電所事故の収束に向けた需要が拡大しましたが、サプライチェーンの寸断による自動車生産量の減少の影響を受け、売上高6,869百万円(前年同四半期比93百万円 1.3%減少)、営業利益266百万円(前年同四半期比224百万円 45.7%減少)、経常利益281百万円(前年同四半期比206百万円 42.3%減少)、四半期純利益162百万円(前年同四半期比115百万円 41.6%減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

震災からの復旧に向けた需要の増加により産業用ホース及びゴムシートは増加しましたが、自動車メーカーの減産の影響を受け、自動車部品が大幅に減少した結果、売上高は4,075百万円(前年同四半期比203百万円 4.8%減少)となりました。セグメント利益(営業利益)は、減収の影響が大きく、64百万円の損失(前年同四半期はセグメント利益98百万円)となりました。

② 米国

産業用ホースは為替換算の影響を受け減収となりましたが、自動車生産の回復により自動車部品が増加しました。その結果、売上高は1,877百万円(前年同四半期比97百万円 5.5%増加)、セグメント利益(営業利益)は176百万円(前年同四半期比13百万円 8.4%増加)となりました。

③ 東南アジア

マレーシアは、家電用ホースが主要取引先からの受注の減少に加え、為替換算の影響もあり、減収となりました。タイは、家電用ホース、自動車部品ともにほぼ横這いで推移しました。その結果、売上高は679百万円(前年同四半期比26百万円 3.8%減少)となりました。セグメント利益(営業利益)は、原材料価格高騰の影響を受け、51百万円(前年同四半期比11百万円 18.5%減少)となりました。

④ 中国

家電用ホースは好調に推移しましたが、自動車部品は需要の低迷に加え、為替換算の影響もあり、減収となりました。その結果、売上高は493百万円(前年同四半期比11百万円 2.4%減少)となりました。セグメント利益(営業利益)は、材料費や人件費の増加に加え、為替換算の影響もあり、31百万円(前年同四半期比44百万円 58.7%減少)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円減少し、26,440百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が254百万円増加したこと、棚卸資産が209百万円増加したこと、現金及び預金が1,370百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ679百万円減少し、6,952百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が342百万円減少したこと、未払法人税等が280百万円減少したこと、賞与引当金が152百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、19,488百万円となりました。これは主として、利益剰余金が62百万円増加したこと、為替換算調整勘定が188百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,026	6,655
受取手形及び売掛金	6,209	6,464
商品及び製品	1,320	1,474
仕掛品	214	220
原材料及び貯蔵品	840	890
繰延税金資産	201	185
その他	264	697
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	17,073	16,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,792	8,041
減価償却累計額	△4,906	△4,978
建物及び構築物(純額)	2,885	3,063
機械装置及び運搬具	16,660	16,794
減価償却累計額	△14,678	△14,915
機械装置及び運搬具(純額)	1,981	1,879
工具、器具及び備品	5,923	5,934
減価償却累計額	△5,528	△5,580
工具、器具及び備品(純額)	395	353
土地	1,591	1,598
建設仮勘定	773	814
有形固定資産合計	7,628	7,708
無形固定資産	191	196
投資その他の資産		
投資有価証券	1,429	1,450
繰延税金資産	291	290
その他	217	216
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	1,933	1,952
固定資産合計	9,753	9,857
資産合計	26,826	26,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,051	2,709
短期借入金	850	850
未払金	1,018	977
未払法人税等	332	52
賞与引当金	271	118
役員賞与引当金	23	5
その他	41	141
流動負債合計	5,589	4,855
固定負債		
長期借入金	450	450
退職給付引当金	1,286	1,340
資産除去債務	18	18
繰延税金負債	7	7
その他	280	280
固定負債合計	2,042	2,097
負債合計	7,632	6,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	12,127	12,189
自己株式	△51	△51
株主資本合計	20,126	20,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	174
為替換算調整勘定	△1,665	△1,476
その他の包括利益累計額合計	△1,501	△1,302
少数株主持分	570	601
純資産合計	19,194	19,488
負債純資産合計	26,826	26,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,962	6,869
売上原価	5,436	5,550
売上総利益	1,526	1,318
販売費及び一般管理費	1,035	1,051
営業利益	491	266
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	13	15
不動産賃貸料	4	4
その他	12	14
営業外収益合計	35	40
営業外費用		
支払利息	4	3
不動産賃貸原価	1	1
為替差損	31	19
その他	1	1
営業外費用合計	38	25
経常利益	488	281
特別損失		
災害による損失	—	11
固定資産除却損	3	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
特別損失合計	18	15
税金等調整前四半期純利益	470	266
法人税、住民税及び事業税	103	73
法人税等調整額	59	8
法人税等合計	162	82
少数株主損益調整前四半期純利益	307	184
少数株主利益	29	21
四半期純利益	277	162

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	307	184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	11
為替換算調整勘定	191	198
その他の包括利益合計	104	209
四半期包括利益	412	394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378	362
少数株主に係る四半期包括利益	34	32

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,111	1,780	575	495	6,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	168	0	130	9	308
計	4,279	1,780	706	504	7,271
セグメント利益	98	162	63	75	399

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	399
セグメント間取引消去	91
四半期連結損益計算書の営業利益	491

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	3,942	1,877	569	480	6,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133	0	110	12	256
計	4,075	1,877	679	493	7,126
セグメント利益又は損失(△)	△64	176	51	31	194

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	194
セグメント間取引消去	72
四半期連結損益計算書の営業利益	266

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

当社及び一部の国内連結子会社は、退職金制度の変更により、平成23年7月に適格退職年金制度の一部について確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。

本移行に伴う第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は、特別利益として148百万円の見込みであります。